

29 ■市民憩いの探鳥地

悠久山・八方台 (長岡市)

■環境：公園 森林
 ■対象：家族
 ■期間：4月上旬～6月、10～11月

悠久山公園は昭和25年、新潟県野鳥愛護会が設立されて最初の探鳥会が行われた所で、市民からは「お山」と呼ばれ親しまれている。八方台は標高576m、長岡東山山本山県立自然公園として遊山、探鳥に最適。

〈お山は、早朝鳥たちの世界〉

悠久山は自然が残っているとはいえ、公園として人出も多いことから、探鳥には早朝が望ましい。着柴神社わきの駐車場左側の杉林がサギの繁殖コロニーで、アオサギ、ゴイサギ、コサギ、チュウサギ、ダイサギ、アマサギの6種のサギを見ることができる。観察にはコロニー内に入ってもよいが、林の周りから双眼鏡で観察した方が見やすい。ただこのコロニーも杉の立ち枯れや周囲への悪臭、騒音などの問題を抱え、サギを別の場所に移動させる作戦が行われていて、今後コロニーの状況が大きく変わることが懸念される。

サギコロニーを観察したら着柴神社に向かい、表参道の杉林に入るとよ

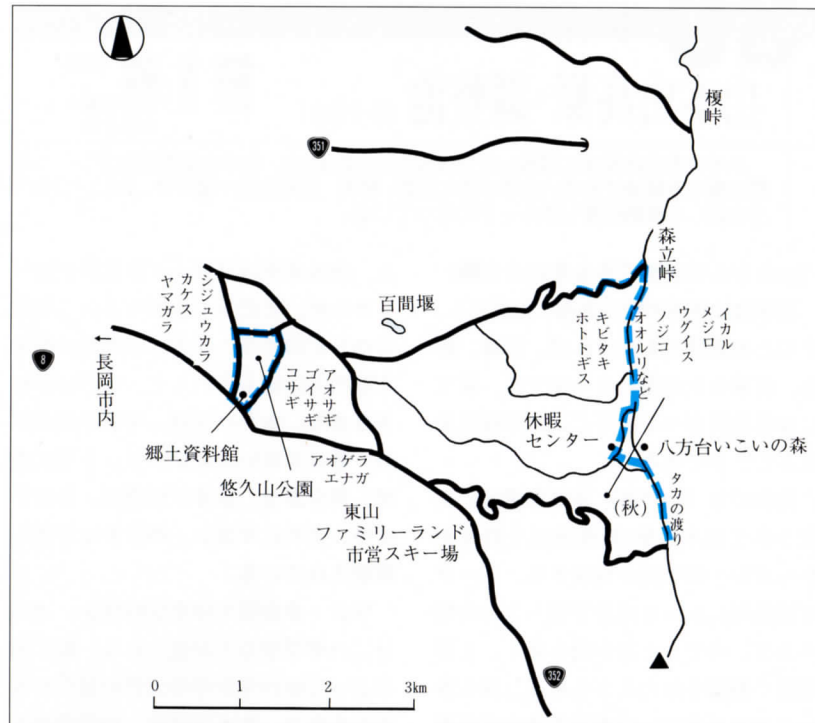


八方台からいこいの森を望む

い。カワラヒワのさえずりが常に聞こえる中、カケス、ヤマガラ、シジュウカラの出現頻度が高い。そのまま公園内のサクラ並木を通して、郷土史料館まで上がると、その周囲の自然林も野鳥の多いところで、ヤマガラ、シジュウカラ、エナガなどのカラ類のほかに、コゲラ、アオゲラがよく見られる。

悠久山公園は秋の探鳥もよい。落葉した木々の間にコガラ、ヒガラが加わり、春には見つけにくかった小鳥類やキツツキ類を間近に観察することができる。公園内を一回りしたあと東側のスキー場周辺に行くと、カシラダカ、ミヤマホオジロ、アオジ、ホオジロなどがススキや低木のブッシュの中に見え隠れして楽しい。

さて、八方台は悠久山から車で約20分、晴れた日には日本海まで望まれる。国民宿舎「八方台休暇センター」の前から、「八方台いこいの森」へ探鳥しながら下る。柳市ノ池にはカイツブリが繁殖しているほか、オシドリやカワセミを見ることがもある。森の中は歩きやすい遊歩道が整備されていて、安心



して探鳥ができる。ヒヨドリ、ホオジロ、ウグイス、メジロ、ノジコ、イカル、オオルリ、サンショウクイ、ホトトギス、キビタキ、ヤマガラ、シジュウカラ、エナガなど、低山帯を代表する鳥たちが観察されるし、春にはアオバトがよく出現する。

八方台はまた、秋にはタカの渡りが観察される。9月下旬、休暇センターの屋上(有料で上げてくれる)で、秋空を渡るサシバやハチクマを眺めるのもよい。(渡辺 央)

メモ

交通 JR長岡駅東口から悠久山行きのバスで「悠久山裏門」か次の「悠久山」下車。八方台へのバス運行は、9～11月の日曜、祝日のみ、時間は問い合わせが必要。

☐ 悠久山公園は、着柴神社の北参道入り口に広い駐車場あり。

探鳥会 悠久山、八方台とも科学博物館、長岡野鳥の会主催の探鳥会が年によって行われている。

問い合わせ先：長岡市立科学博物館

☎0258-35-0184